

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎ノ

130 千葉地本デツチ上げ再建大会 粉碎

1/27 銚子支部臨時大会、満場一致で
「(本部派)業務再開」路線を否決!
銚子支部を動労「本部」反動分子の「出先機関」と化し、混乱と泥沼の道を選ぶのか!それとも、この混乱に終止符をうって労働組合運動の原則的立場を守り動労千葉と共に歩むのか!いずれの道を選択するかを問う一月二十七日銚子支部臨時大会は、組合員の満場一致の賛成をもって、後者の道を選択する第一歩を踏み出したのである。

銚子支部は一・三〇「再建地本
デツチ上げ大会」に不参加!

極少数の「本部」派は今こそ悔い改めよ

銚子支部臨時大会は、一月二十七日(一)時三〇分
五一名の組合員が出席し、かつてない真剣な討論
が行われ、三〇分余りの休憩をとって一三時三〇
分頃終了したのである。

佐倉・津田沼・新小岩の心ならずも「本部」派に
なった諸君!われわれは、諸君に心を開いて呼びか
ける。「本部」反動分子と東洋大学卒の根っからの
革マル分子嶋田誠等と、ともに動労千葉や、全国の
良心的動労組合員に敵対することを直ちにやめるべ
きだ。銚子も参加しない極少数の実体のない「千葉
地本再建デツチ上げ大会」に参加することは、あの
四・一七、四・一五津田沼襲撃を行い、権力当局に
弾圧処分を哀訴し、八一・三ストつぶしを策動する
「本部」反動分子の尖兵になることを公然と宣言す
ることなのだ。

大会は、支部長からの臨時大会の開催主旨を含
めたあいさつと、書記長による経過報告と今日の
銚子の状況が説明された後に議事に入った。
冒頭、組合員から「十二・二三動労銚子支部業
務再開決定は白紙撤回すべきである」との主旨の
緊急動議が提出され、この緊急動議をめぐって討
議された。そして緊急動議に賛成する意見が四名
の組合員から発言されたのである。これをうけて
議長は、緊急動議の採決に入り組合員満場一致の
挙手をもって緊急動議を採決したのである。

われわれは、諸君が悔い改め、「一・三〇再建デ
ツチ上げ大会」不参加の立場を貫くならば、いつで
も動労千葉は諸君らをも受け入れる用意があること
を明らかにしておこう。

一・三〇「再建地本デツチ上げ大会」
粉碎へ

「本部」反動分子が、かのフアンシヨ的「業務
再開決定」のベテンをもって、動労銚子支部が
再建された、さあ今度は千葉地本再建だ!などと
宣伝し、全国の動労組合員をベテン的に引きまわ
っていたデマが、今や誰の目にも明らかに、粉碎
されつくしたのである。そして大会終了後、支部
執行委員会が開催され、「銚子支部を一本にまと
める」ことを前提にし、①現執行部は総辞職する。
②新執行部選出のための役員選挙を、一月二十八日
立候補受付開始をもって行うことを決定したので
ある。

「本部」反動分子が行う「再建」は実体のないものであ
る。その哀れともいうべきみすぼらしい実態たるや、新小
岩僅か九名(しかも、そのうちの七名までもが、残り任期家
族のとわずかの他局からの短期転勤者なのであり)、津田沼
一五名(同九名)、佐倉三〇名(同九名)というものであ
り、短期転勤者は本年より続々と帰局しはじめており、文
字通りの実体も展望もないじり貧状況になるのは目に見え
ているではないか。すなわち、あと一ヶ月たらずで「本部」
派なるものは、千葉全体ひっかき集めてもせいぜい二九名
そこそこという、惨たんたる実態におちこんでしまうのであ
る。

全組合員、家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!

一・二七銚子支部臨時大会ががちとった意義は
重大である。第一に、「本部」反動分子によって
仕組まれた「十二・二三業務再開」II「動労銚子
支部再建」なるデツチ上げ策動を、銚子の全組合
員の総意をもってうち砕いたことである。第二に、
「本部」反動分子の「八一・三闘争破壊II動労千
葉解体」を唯一の目的にした一・三〇デツチ上げ
「千葉地本再建大会」にたいして、銚子支部は一
切かわりをもたないことを決定したことであり、
「一・三〇再建大会」策動に一大痛打を浴びせ、
動労千葉の八一・三へむけた大きな前進をがちと
ったことである。

われわれは、こうした実体のないものであるからといっ
て断じて許しはしない。「本部」反動分子の狙いが動労千
葉解体のための足場作りであり、八一・三闘争破壊である
以上、われわれは全組織力をあげて「一・三〇」を粉碎す
るのみである。
全組合員のみなさん。
新小岩・津田沼・佐倉の極少数「本部」派へジュウタン
オルグを展開せよ。「一・三〇」粉碎にむけ総決起せよ。